



平成30年度小佐野記念財団 高校
生国際交流事業（台湾・高雄市）
感想文集

内容

小佐野記念財団高校生国際交流事業（台湾・高雄市）概要.....	2
北杜高等学校 清水 百梨	7
甲府西高等学校 奈良 優里香	9
甲府西高等学校 佐原 茉奈.....	11
甲府西高等学校 長田結菜	13
甲府南高等学校 陳 睿壹	15
甲府昭和高等学校 鈴木 愛理.....	16
市川高等学校 松田 桃佳	17
市川高等学校 佐野 茉海	20
山梨高等学校 武井 莉胡	23
富士北稜高等学校 野村 咲貴	25
山梨英和高等学校 佐野 春音	27
山梨英和高等学校 出羽 ころろ	29
山梨英和高等学校 鄭 修彬	31
山梨学院大学付属高等学校 佐久間 若奈.....	33

小佐野記念財団高校生国際交流事業（台湾・高雄市）概要

- 1 日 時 平成31年3月14日（木）～17日（日）
- 2 場 所 台湾・高雄市
- 3 内 容 (1) 高雄85スカイタワービル（展望台）訪問
(2) 高雄市政府教育局表敬訪問
(3) 中山高級工商職業学校訪問
(4) ホームステイ
(5) 六合観光夜市散策

(1) 高雄85スカイタワービル（展望台）訪問

日 時：平成31年3月14日（木）17時00分～18時00分

場 所：東帝士85スカイタワービル 75階展望台

参加者：小佐野記念財団事務局 古屋ほか1名、本県高校生14名

内 容： 高さ378mと台湾屈指の高さを誇るタワービル展望台を訪問。景色はやや霞んでいたものの、高雄港や台湾海峡、ビル群など高雄市内を一望することができた。

(2) 高雄市政府教育局表敬訪問

日 時：平成31年3月15日（金）9時30分～10時00分

場 所：高雄市政府教育局

参加者：情報及び国際教育科股長 蘇柏純氏、局長室秘書 徐氏

小佐野記念財団事務局 古屋他1名、本県高校生14名、通訳2名

内 容： 面会予定であった情報及び国際教育科科长が所要により欠席したため、代理で同科股長の蘇柏純氏と面会。蘇股長からは2018年1月に締結した「山梨県・高雄市国際友好交流に係る覚書」を基に、今後さらに交流事業を推進していきたい旨が示されるとともに、2019年12月に高雄市で開催予定の全国アジア高校生交流事業への参加の打診があった。

(3) 中山高級工商職業学校訪問

日 時：平成31年3月15日（金）10時30分～15時30分

場 所：中山高級工商職業学校

参加者：同校 李昱平主任ほか教職員および日文科、英文科、観光科の生徒併せて約500名

小佐野記念財団事務局 古屋他1名、本県高校生14名、通訳2名

内 容： 日本の私立高校にあたり、生徒数1万人、敷地面積13ヘクタールと台湾の中でも最大級の規模を誇る学校の生徒との交流を行った。

・ 歓迎会

講堂にて行われ、約500名の教員及び学生より熱烈歓迎の拍手を受けながら入場。李昱平主任による本県訪問団を心より歓迎する旨の挨拶、日文科代表生徒による日本語での挨拶、本県代表生徒（出羽こころさん）による挨拶などが行われた。

・ キャンパスツアー

日文科の生徒4名の案内による校内見学を実施。言語は日本語で行われ、校内モニュメントや歴史、少数民族に関する授業など、クイズを織り交ぜながら学校の特色について解説した。

・ タピオカミルクティー作り

日文科及び観光科の生徒と、タピオカを粉から作るミルクティー作り体験を通じ交流した。生徒たちはジェスチャーを交えながら意思疎通を図り、和気藹々とした雰囲気の中で完成させていた。

・ クラス別交流

予め指定された学科（日文科及び英文科併せて5クラス）に分かれ交流を行った。内容はクラスごとに異なり、台湾B級グルメ紹介、歌とダンス、椅子取りゲーム、じゃんけんゲームなど、それぞれ工夫が凝らされた内容であった。

(4) ホームステイ

日 時：平成31年3月15日（金）15時30分～3月16日（土）16時30分

場 所：各ホームステイ先及び高雄市内

参加者：本県高校生14名、中山高級工商職業学校ホストファミリー

内 容： 各ホームステイ先へスクールバスにより移動し、高校生14名が13家庭（全て女学生の家庭）に分かれ過ごした。ホームステイ2日目はホストファミリーと共に市内観光地を巡ったが、受け入れ家庭以外の生徒も自主的に同行するなど、非常に歓迎ムードであり、生徒たちは身振り手振りでコミュニケーションを図りながら交流していた。夕方の解散であったが、台湾側、日本側の生徒とも涙を流したり抱擁するなど別れを惜しむ様子が見られた。

(5) 六合観光夜市散策

日 時：平成31年3月16日（土）18時30分～19時40分

場 所：六合観光夜市

参加者：小佐野記念財団事務局 古屋ほか1名、高校生14名

内 容： 現地ガイドのアドバイスにより、露店の開店時間に合わせ当初の予定より30分遅らせて散策を行った。数百メートルに渡り道路の両端に軒を連ねる、麺類の店やドリンク店にて飲食を行いながら、夜市という台湾の文化に触れた。

<p>(1) 高雄85スカイタワービル視察</p>	<p>(2) 高雄市政府教育局表敬訪問</p>
	
<p>(3) 中山高級工商職業学校訪問（歓迎会）</p>	<p>(3) 中山高級工商職業学校訪問（キャンパスツアー）</p>
	
<p>(3) 中山高級工商職業学校訪問（タピオカミルクティー作り）</p>	<p>(4) ホームステイ①</p>
	
<p>(4) ホームステイ②</p>	<p>(5) 六合観光夜市散策</p>
	

～参加者感想文～

私は、この小佐野記念財団高校生国際交流事業を通して今まで以上に海外へ興味を持ちました。最初は、これから一緒に参加するメンバーとの対面、ホームステイ先との交流、初めて海外に行くことの不安や期待そして、楽しみが入り混じりとても気持ちが高ぶっていました。しかし、いざ台湾に着くとすぐに、参加するメンバーとも仲良くなることができました。日本という国を離れてみて初めて感じる好奇心が終始止まりませんでした。台湾を訪れて、一番感じたことは、本当に日本人に対する思いやりや愛が深いということです。なぜなら、高雄市政府教育局や、中山高級工商職業学校、ホームステイ先など体験したり、見学する中で本当に会うみなさん方がとても良くしてくださり、こんなにも日本は愛されているんだと実感したからです。特に台湾の学校を訪れた時は、日本とは全く違う文化や勉強に触れることができました。私が行ったクラスは日本語ができるクラスで、どの生徒も日本語が上手ですごいと思いました。そしていよいよホームステイ先との対面です。言葉の壁や初めてのことでいっぱい不安がありましたが、笑顔で迎えてくれたゆりちゃん、すずちゃん、家族の皆さん、不安は一気になくなりました。まず、言葉の壁を心配していたのですが、本当に家族みんな日本語が上手だったので、すぐに打ち解けられて、仲良くなることができました。台湾語や台湾の市内や建物なども詳しく教えてくれたり、いろいろな食べ物や夜市、お店などに連れて行ってくださいました。このホームステイの一日間は私にとって台湾のことをより一層詳しく知れたり、見るもの食べるもの聞くものが新鮮でとても濃い一日になりました。本当に感謝でいっぱいです。また、高雄市内を探検しようという気持ちで、出かけた自由時間、日本と違った風景、建物、食べ物や聞こえてくる言語は、とても新鮮でした。街の人と会話する機会が沢山あり、私自身の英語能力やコミュニケーション能力も試されました。その甲斐もあり、自分を成長させることができたと思いました。この国際交流事業を通して、学べたことをもっと自分に活かして、これからも英語能力やコミュニケーション能力を高め、学習に励んでいきたいと強く実感することができました。そして、今後も語学力、新たな価値を生み出せる創造力、国際社会で自らの考えを積極的に発信する力を養い、国際社会で活躍できる人間に成長し、将来は地元山梨で貢献できる職業に就きたいと思います。この国際交流事業で、沢山の人の人に出会えたこと、色々なことを体験し刺激を受けられたことに改めて感謝します。本当に楽しかったです。私にとって最高の思い出になりました。



私が台湾に行って一番感じたことは、台湾という地は明るく、親日的な人がとても多いということです。私は海外に行くことが今回で初めてだったため、学校訪問やホームステイがとても不安でした。しかし、私たちを迎えてくれたC S I Cの生徒やホームステイを受け入れてくれた家族は、とても優しく受け入れてくれました。台湾には親日的な人が多いと聞いていましたが、実際に現地で関わった人たちは日本人以上におもてなし精神や思いやりがあったように感じました。

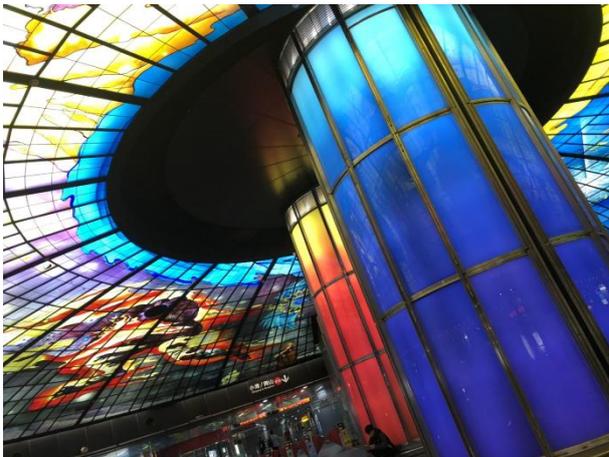
C S I Cの生徒は日本のことをよく知っていて、日本の歌手やテレビ番組、テーマパークの話などでとても盛り上がり、台湾でできた友達の中には、将来日本の大学に進学することを目指している人もいました。学校訪問で、校内や授業の様子を見学しましたが、日本の学校とは異なることがたくさんありました。雰囲気は日本と比べてかなり自由で、規模も大きく、大学のように感じました。

三日目の高雄市市内観光では、町中にある英単語の日本語を私から教えたり、逆に中国語のあいさつや、台湾の子供が教わる歌などを教えてもらいました。町中で会う人はみんなとてもフレンドリーで、知らない人でもあいさつをしたり、会話をしたりと、日本との違いに驚きました。はじめは、言葉や文化が違うため、自分一人で大勢の台湾の友達と一日過ごすことがとても心配でしたが、一日の終わりにはお別れをしたくない、寂しいと感じるほど、みんなと仲良くなることができました。今もInstagramやLINEを交換して、国境を越えてもコミュニケーションをとり、つながることができています。

今回の事業を終えて、私は、自分の語学力を向上させることと、もっと世界に目を向けて他国の文化を知ることを今後努力していこうと思いました。街に出て、お店で買い物をしたり、夜市を回っているとき、授業で習った英語は通じませんでした。ジェスチャーを使い、英単語を並べてなんとか伝えることができたものの、言語が違うコミュニケーションの難しさを痛感しました。また、食事のマナー、あいさつをするタイミングなど、私たちのあたりまえの習慣とは違う点もたくさん発見しました。

もっと語学を学び、知識を増やして、もう一度台湾を訪れたいと思いました。これからさらにグローバル社会が進む上で、自国とは異なる様々な考え方や文化を理解し、協力し合うことが重要だと感じました。

台湾での4日間は本当に刺激的で、貴重な体験をたくさんすることができ、多くのことを学んだ最高のものでした。またこのような機会があったら参加したいです。このような事業を用意していただき、そしていろいろとお世話になり、本当にありがとうございました。



高校生のうちに何か特別なことをしたい。3年生になってからでは受験があるから遅い、今のうちに何かしなきゃ、そんな気持ちでいた時に今回の交流事業のことを知りました。元々英語を話すことが好きで、海外に行くことや色々な国の人達との交流をしたいという思いもあったので正直、絶対掴みたいチャンスでした。なので実際に参加出来ることが決まった時は本当に嬉しかった反面、出発前は現地の人や他の高校生たちとちゃんと関わられるかという不安ばかりが募る日々でした。しかし実際に会ってみるとそんな心配をしていたのが嘘のように多くの人と関わることができました。

台湾での国際交流事業を終えて、行く前のことを振り返ってみると、私は正しさにとらわれている面があったのだと思います。もちろん正しく伝えるということは今日のメディア等における課題としても挙がるように重要なことではありません。しかしコミュニケーションにおいては、大切な事はまず伝えること。私たちが母国語以外、特に英語などを話す時ついつい文法や単語が正しいのかどうかを気にしてしまいがちな所があると思います。しかし、本当に必要だったのは間違ってもチャレンジして沢山話してみることにあります。実際に現地の人達は私たちにいつも質問などを投げ掛けてくれたり、楽しめているか気にかけてくれたり、沢山コミュニケーションをとろうとしてくれました。なのでそれにこたえようと単語だけでもしっかり返そうと積極的に喋ろうと頑張ることができました。これらを通して、言語や文化の違いがあってもお互いにコミュニケーションをとろうという気持ちがあれば大丈夫だと実感することができ、とても励みになりました。

また、志望動機の一つであった街並みなどのデザインについても、高雄市の町中には様々なアート作品があり、ホストファミリーたちに色々な所を案内してもらいました。街中の看板には原色や蛍光色など印象の強い色が多い印象を受けました。その中で中国語の漢字のみのデザインでのフォントの活かし方など日本とは言語や文化が違うからこそ学べるのが芸術面でもまだまだ多くあることを感じました。また同時にひらがななど日本語特有の文字や文化の良さや面白さも感じることができ、とても楽しく、勉強になりました。今後の作品制作の糧にして行きたいと思います。

今回の交流事業では沢山の人が親切にして貰いました。実際に現地に足を運んだからこそ得られたこの喜びや感動を今度は私がほかの人にそういった気持ちになって貰えるように日常生活、また、国際交流を通して恩返しをしたいと思いました。

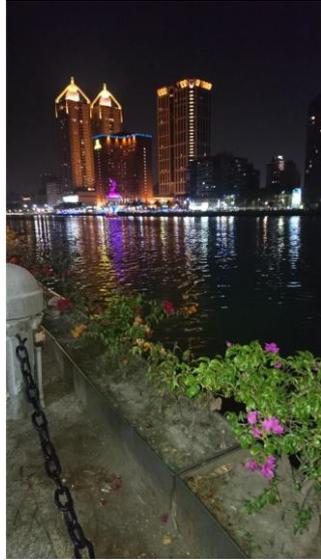


私が今この事業を終えて感じたのは達成感だ。これは多くのことを学べたことによるものだ。初めて空港出た時に感じた空気は日本とは全く違い初夏のようだった。早速バスに乗り込むとビビットカラーの花が咲く木々と大量のバイクが目映った。台湾ではバイク文化が根強く、移動手段も車よりメジャーだ。また百十キロの高速道路は超高速道路といえるスピードで、右側通行も新鮮だった。歩行者用の信号機は青のとき、ライトが動き歩いているように見える仕掛けがあり驚いた。

食文化も全く違っていた。屋台が街の至る所にあり、たくさんの人が食事をしながら会話を楽しんでいた。夜市は特に賑わっていて大きな広場に屋台で何本もの通りを作っていた。台湾の人は自炊より外食の方が多く、人々は外に出る時間が長くなるので街が常に活気に溢れているのかなと思った。また、ホテルに滞在中何度か外から同じ音楽が流れて気になり見てみるとごみ収集車から流れていることに気づいた。人々はその音が聴こえると外へ出てきて家庭のごみをごみ収集車に入れていた。こういった習慣の違いを見ることはとても新鮮だった。

そして現地の学校訪問の出会いはずっと印象に残るものだった。中山工商学校は生徒数約一万人の大規模な学校で様々な学科があった。私はその中の日本語学科の生徒と交流した。お互いの街の紹介をしたり一緒に食事をしたりした。その後ホストファミリーと面会し、たくさんの友達と共に高雄市内を案内してもらった。これらの同世代の人達との交流はすべて日本語だった。私は英語も中国語も使いこなせない状態だったのでごく支えになったし、詳しい情報をお互いに交換できた。しかしこのことは私がまだまだ未熟であることを実感する出来事でもっと語学に励まなければならないと思った。

今回私にとって初めてだった海外は大きな刺激を与えてくれた。世界に出てみるということは日本とは異なる文化を知れることだけでなく、自分自身を見つめ直したり人生を変えるきっかけにもなりうると感じた。私自身留学など海外に行くことは負担が大きいとネガティブな気持ちがあったが、今回の事業で興味を持ち色々調べてみると工夫次第でいくらでもチャンスが作れることが分かった。そのため、これからはもっと世界にアンテナを向けて生活していこうと思う。



私は台湾の高雄で3泊4日を有意義に過ごすことができました。素晴らしい仲間、友人に出会えて、台湾に行ってよかったと思っています。

まず、私は台湾に行って驚いたことが2つあります。

1つ目は、バイクの多さです。台湾は人口あたりのバイク数が世界一で、車道にバイク専用レーンが整備されています。空港からホテルに行くとき、何百ものバイクがバスの隣を走っていて、日本とは違うなと思いました。バイク文化と言われていたほど、皆がバイクを交通機関として使用していました。

2つ目は、日本語話者の多さです。台湾は日本の植民地だったこともあり、特に年配の方に日本語話者が多かったです。実際に、夜市では、英語は通じないことが多かったですが、日本語では結構通じて、そのあまりの流暢さに、私が驚かされました。また、私が訪れた高校では、日本語学科があり、その生徒達は、日本に興味があり、一生懸命に日本語で会話をしようとしてくれているのがとても嬉しかったです。

私は台湾に行って、改めてコミュニケーションの大切さと英語の便利さを実感しました。私のホストファミリーは、決して英語が流暢というわけではありませんでしたが、異国の地で恐縮していた私に、英語で一生懸命話しかけてくれて、とても親近感が湧きました。もちろん、私もホストファミリーも英語のネイティブスピーカーではありません。しかし、どんな言語でも、人は心と心でコミュニケーションをしていると思います。言語は、それを使ってたくさんの人とコミュニケーションをしてはじめて、その効力を発揮すると思います。英語は、世界共通語だから、世界の人との言語の壁を乗り越えさせてくれる。これからは、もっと話せる英語を学んでいきたいです。

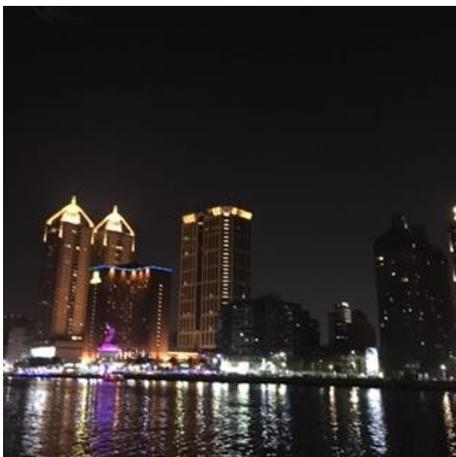
「台湾に行つて」

高校生活でやりたいことが出来る最後の年とされる今年度の末、将来の夢のために昔からしてみたいアジア留学を体験した。

初めての海外生活ではなかったが、見ず知らずの仲間と見ず知らずの地で体験することへの心配はとても大きかった。正直なところ、一緒によつ金を共にする仲間とは1日しかあったことがなく、ましてや話したこともなかったことで不安だった。しかし、そんな心配もなくなるほど最高な仲間と優しい付き添いの県の方のおかげで、本当に素晴らしい経験をする事ができた。

台湾はとても親日家で、日本人を家族のように接し、訪問を心から喜んでくれた。食文化は日本人に馴染みのないものばかりで戸惑ってしまう場面が多かったが、その中でも自分の好みを見つけられることができた。以前アメリカに訪れた際には感じる事ができなかった日本との共通点に驚く一方で、事前に予想していた台湾の文化とは全く違うものを見つけることも多々あった。そのひとつとして感じたことは、台湾の方は内気な方が多く、日本人のような性格だと考えていたのだが、実際は全く違った。日本の人々よりも遥かに積極的で社交的なのだ。そんなことを通して、日本人の英語学習における欠点を見つけた。台湾の学校の授業を受けると、多くの学生が積極的によりネイティブを意識した発音で英語を話していた。日本人は欧米訛りの英語を話すとお高くとまっているといった批判的な目を向ける傾向にある。それが日本人の学生が相手に言葉を伝えようと英語を話さない理由だと感じた。実際英語を完璧に話す欧米の方と英語を話す際は、単語を日本語英語で発音しても相手の予測力があることによって、思っていることがつたわってしまう場合がある。そうすると発音を疎かにしても大丈夫だと思われがちだが、英語を公用語として利用していないもの同士の会話ではそれが通用しない。今回の交流で私が1番感じたことはそれであった。

アジア文化を学ぶことができ、英語、言葉の重みを知ることができる貴重な体験であった。ありがとうございました。



私は今回、山梨県代表として高雄市に派遣されたことにとっても感謝している。本事業には旅行では決して経験できないであろう貴重な体験がたくさんあった。

私はいつか外国の同年代の人たちと触れ合ってみたいという夢があり、本事業の高雄市の高校生との交流というプログラムをとっても楽しみにしていた。現地の高校に着いた時、学生たちの歓声で暖かく迎えてくれて嬉しいというよりか少し恥ずかしかった。講堂まで案内してもらい中に入ると、さらに大きな歓声で迎えられ、あの時の嬉しさは言葉では表せないほどだ。日本語科の生徒に校内を案内してもらった時の日本語の上手さには驚いた。また、各教室に行き生徒と昼食を食べて交流をした時にも神様の様な扱いを受け、本当に暖かく迎えられた。私が行った教室は英語クラスだった為みんな英語がペラペラで最初は戸惑ったが、無言でいるのが一番良くないと思い、とにかく沢山自分から話しかけた。クラスの子たちは皆優しくて、周りからも話しかけてくれたり、一緒に写真を撮ってくれたり、1時間一緒にいただけとは思えないほど仲を深める事が出来た。日本と台湾の違いの話も出来て、教室にいた時間は今回の留学の中で一番充実した良い時間だった。

ホームステイ先でも様々な体験ができた。夕食で手作りの郷土料理を食べたり、夜には屋台や店で賑わっている所へ連れて行ってもらい、お土産を買ったり、タピオカミルクティーを飲んだりして楽しい時間を過ごした。ホストファミリーは本当に親切でフレンドリーで明るくて、次の日には展覧会やレストラン、有名なタピオカミルクティーの店、港など私を色々な所へ連れて行ってくれた。次の日にはホストシスターと朝市に行って、市内を散歩しながら趣味や中国語など沢山の話ができた。

今回の留学では日本との文化の違いを感じる場面が沢山あった。特にトイレだ。紙を流してはいけない所が多く、慣れるのには時間がかかった。また、烏龍茶と緑茶が甘いという事にも驚いた。また語学力の高さにも驚き、日本の英語教育にももっと力を入れるべきだと感じた。

私自身ホストファミリーとの時間や教室では常に英語で初対面の人にも積極的に話しかけ、語学力やコミュニケーション能力が向上したと思う。また、自分から積極的に英語で話しかけたり、中国語しか通じない所へ飛び込んでみたり、失敗を恐れずにやる事は自分を成長する為にもが大切だと改めて感じた。

私は高雄市の魅力をもっと多くの人に知ってほしいと思う。高雄市には、街中の壁に絵が描かれていたり芸術品があったり、若者に人気がありそうな場所が沢山あった。また、人々は明るく優しくて、夜市や朝市では日本では食べれないような物が食べれたりもする。これ以外にも実際に行ってみないと分からないことは沢山あった。今の私には高雄市と山梨県を結ぶ為何かの事業を立ち上げたりすることは出来ないが、高雄市の魅力を伝えることはできるはずだ。そして今回出会った高雄市の人達を次は私が日本に招待して山梨県の魅力を目で見て体で感じてもら

いたいと思う。今回の留学を自分の思い出として留めておくのではなく、1人でも多くの人に高雄市の魅力を伝え、微力ながらも高雄市と山梨県を結ぶ担い手となっていきたい。





私はこの交流事業を通して多くのことを学べた。台湾のことを学び、さらに英語を話せるようになりたいと思い、日本語が通じない場所でどれだけできるか自分を試してみたいという気持ちがとても強くこの事業に応募した。実際ホームステイの2日間英語のみで過ごすことは大変だったがなんとか会話することが出来た。また、数え切れないほどの新しい体験もあった。

まず、中山工商での熱い出迎えには驚かされた。台湾は親日家と知っていたが予想を遥かに超える歓声ですごく嬉しかったのを今でも覚えている。まず日本語学科の生徒達。日本人のような流暢な日本語を話し会話もできてまるで日本にいるようだった。日本への愛を強く感じさせられ、多くのことを教えてあげようと思った。次にクラスごとの交流。應英一乙だった。2歳年下なのに英語が上手で驚かされた。結局準備していた発表はすることが出来なかったが、生徒達がゲームを考えてくれ、英語で説明してくれた。歓迎されて嬉しかった。

次にホームステイである。私が一番楽しみで一番不安に思っていたものである。初日はみんなでゲームしたり話したりした。英語が上手く伝わらなくて不安に思ってしまう自分から話しかけることが出来ずにいた。私はこの事業に参加している他の子と2人でホームステイしたのでその子に助けを求めてばかりいた。2日目は自分から話しかけることにした。友達と10人くらいで高雄の観光名所をまわったり、バイクに乗った。みんな英語が上手で、自分の実力不足を痛感させられた。結果的にスラスラと英語で話すことは出来なかったが話そうとする姿勢が大事だと改めて感じた。また、たとえ言語が通じなくても友達になれるとわかった。

最後に生徒達と話していて気がついたことがある。英語教員を志望している私にとって他国の教育現場を見られることは非常に楽しみだった。1番異なっていると感じたのは生徒達の英語力の高さである。彼らは中学から本格的に英語を学ぶ日本人と同程度の年数学んでいると言っていた。私と同じ5年間学んでいるという男の子がいた。クラスでもFの成績だと言っていたが会話力がとてもあった。わたしはどのような授業をしているのか気になったので台湾を訪問して実際に見聞したいと思っている。

私はこの事業に参加することが出来て良かったと心から感じとても感謝している。人のことばかり書いてしまったが高雄の歴史などもたくさん学ぶことができた。だが私は今回の派遣は人との出会い1番の収穫だと感じた。今でも何人かと連絡をとっているので一生の縁にしていきたい。また英語力をより向上させ、再び会いたいとも考えている。その間にも日本に招待する機会があったら案内をしてあげたい。この交流事業を通じて大切な友達が何人もできた。これは自分のコミュニケーション能力が向上したからだと思う。きっと以前までの私なら少しでも通じなくなったら諦めてしまっていたと思う。この事業への参加が私にたくさんの

刺激を与えてくれた。この経験をたくさんの人に伝え、活かしていき、自分の夢も叶えられるよう努力していきたい。





「優しい人たちに囲まれて」

今回の体験は初めてのことばかりでした。日本を出たこともなかったので緊張しましたが楽しみでもありました。台湾は漢字表示なので、少し日本と似ていると思いました。バイクに乗っている人が本当に多く驚きました。高雄市は道も広く渋滞が起こることはないそうです。信号が少し変わっていて秒数が表示されるなど日本とは違うところが沢山ありました。コンビニはファミリーマートとローソンがあり、商品も日本のものがありました。日本にしかないと思っていたものを見つけると本当に驚きました。

高雄市私立中山工商職業学校に行きました。歓迎がとても豪華で嬉しかったです。とても大きくて大人数の学校で圧倒されましたが、みんな優しく楽しかったです。台湾の高校生と友達になれたことがとても嬉しかったです。私は日本語学科のクラスにいきましたがみんな日本語が上手で日本の歌やアニメなど知っていて話が盛り上がりました。色々話していると日本が本当に好きなんだなと思いとても嬉しく思いました。その分、お別れが辛かったです。

ホストファミリーはみんな優しく安心しました。英語だけの会話は難しく少し沈黙もありましたが、頑張って伝えたい事を伝えるとわかってもらうことができました。ホストファミリーとは色々なところに行きました。スクーターで移動するのですが2人乗りで後ろに乗りドキドキしながらも船に向かいました。海に着き最初にかき氷屋さんに行きました。果物がたくさん乗ったマンゴーかき氷を食べましたが、暑かったのもありとても美味しかったです。そこで驚いたのがミニトマトが載っていたことです。その後海に行き足だけ水に入りたくさん遊んで、みんなと写真を撮ることができとても楽しかったです。無事にホテルに着きホストファミリーとお別れの時間がきました。お別れの時、とても寂しくお別れしたくないと話していると、ホストファミリーの子が泣きだし、私も泣いてしまいました。まさか泣くとは思ってなかったのでそれだけ充実した時間を過ごせたのだと実感しました。

短い時間でしたが、台湾の人たちは家族のように接してくれて、優しく話しかけてくれて本当に良い人たちに恵まれたと思いました。日本に帰ってきて寂しいですが、台湾の若者はみんなSNSをしていたので今はSNSを使ってたくさん話をしています。今もこうして繋がることができているのでとても嬉しいです。

今回の体験は私にとって全てが初めてでした。それでもみんな優しく温かく迎えてくれて感謝しかありません。外国の人と関わる事は滅多にないことなのでこの小佐野財団のホームステイに参加できてとても良かったです。私は英語が苦手な私が話したいこともあまり話せませんでした。次に会う機会がある時には沢山英語で話せるようになりたいです。そのためにも、学校で勉強を頑張り、台湾に行

った 4 日間を今後の自分の将来や日本と台湾の友好のために生かしたいと思いま
す。



まず第一の感想としては、とても楽しかったこと、はじめての経験で学んだこと、友達が出来たことです。私は、忘れはしないあの日に、もう一度戻りたいなと強く思っています。私をそう思わせるのは、友達という存在と日本ではありえないような日常です。私はこの事業に関わってくださった全ての人たちに本当に感謝しています。私をこの事業に参加させて頂き、ありがとうございました。

実はちょうど一年前に、台北に家族旅行に行きました。楽しかったですし、知り合った方々皆さん優しい人でした。台湾の人が好きになり、私は山梨のことも知ってほしい、山梨に来て欲しいと思ったのです。それが参加する一つのきっかけとなりました。しかし一緒に行く山梨の子たちは全く面識が無いし、ホームステイはどんな感じなんだろうと不安と期待が入り混じっていました。しかし実際に話して共に行動していると、私の不安は一気にかき消されました。緊張していた私に気さくに話しかけてくれ、仲間意識が強まりました。

高雄市の学校訪問では学校に着くや否や、大きな歓声と大勢のお出迎えが待っていました。この光景を私は忘れることはありません。こんなに歓迎されるのは初めての経験で私は非常に感激していました。そして、日本語クラスの生徒さんは日本人顔負けな日本語を話されていて驚きました。私たちが知らないところで日本のことを一生懸命勉強してくれている人たちがいるということを知りました。そして、私が参加したクラスは皆さん仲が良く、個性的で明るい生徒さんが多く笑いが絶えない教室でした。頑張って準備した山梨の紹介が出来ず残念でしたが、無駄にはならないのでこれから活かしたいと思います。生徒が一万人と大きな学校でしたが、素敵な場所でした。

ホームステイは経験が無く、不安もありました。ですが、私たちを楽しませようと計画を立てて、市内を案内してくれました。地元の商店街は賑わっていて、台湾らしい光景を見ることができました。中には不思議な格好をした人や、道に座り込んでいる人も見かけたりと、その状況を理解できない私はまだ勉強が足りないなと感じました。ホームステイ先では、言葉は通じないけれどホストファミリーのお父さんお母さんも笑顔で温かく接してくれ、いつか恩返しをしたいと思います。

私と同じ年のジニーとは写真をたくさん撮って、ジニーの友達とも楽しい時間を過ごすことができ、国境を越えての絆がとても深まりました。本当に最後まで親切でやさしさに溢れている方ばかりでした。お別れの時間はあっという間にやってきました。短時間しか一緒に居なかったのですが非常に濃い一日で、思いが込み上げてきました。私が出会った人々は日本大好きな友達思いの学生でした。住んでいる場所、育った環境、言語や人種が違っても、同じ人間である私たちはお互いに助け合うことができ、思いを伝え合うことが出来るということを実感することができ、深く私の心に刻まれました。

私は、今回の交流で素敵な出会いと新たな目標ができました。そして次は私が日本を案内し、楽しんでもらいたいと思います。この経験を多くの方に語り、またこのような機会を与えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、自分自身の今後の人生にも活かしていきたいと思います。ありがとうございました。



今回の研修ではたくさんの出会いと発見がありました。特に私が印象に残っているのはホームステイです。この研修への参加が初めての海外経験であり初めてのホームステイだった私にとって、日常的には使わない英語で他人とコミュニケーションをとることに不安しかありませんでした。また、私は普段から発言が少ない性格だったので自分が思っていることを相手に伝えられる自信がありませんでした。しかしだからこそ、そんな性格を少しでも改善するために、私はこの研修に申し込みました。

実際に対面してみると、英語で会話すること以外に変わったことはなく、自己紹介などの簡単な会話から日常会話まで、日本人ではない初対面の相手とのコミュニケーションを楽しむことができました。また、せっかくのこのチャンスを活かすために自ら話しかけることを意識してみると、日本との違いを知ることができたり、より伝わりやすい伝え方を発見できたりしました。うまく伝わらないことでも、工夫をすることでなんとでも伝えよう、という思いが生じてきました。自分は今までの自分では考えられないことだったので少し驚きました。少しずつ慣れてくると緊張が緩み、3日目は特に充実した時間を過ごすことができましたと思います。ホストシスターは、友人をたくさん誘って海に連れて行ってくれました。台湾の、バイクが多いという特徴の通り、彼女たちはみんなバイクの免許を持っていて、私を後ろに乗せてくれました。バイクに乗るのは初めてで少し怖かったけど、風が気持ちよく、普段見る景色とは違った景色を見ることができ、本当に貴重な経験でした。海の近くに、きれいな外観のオブジェのようなものがありそこで写真を撮った後、海に少し入りました。山梨県には海がないこともあり、私にとっては久しぶりの海を十分に楽しむことができました。他にも、台湾で有名なマンゴーかき氷のお店やおしゃれなカフェに連れて行ってくれたり、日本語でゲームをしたり、日本のことについて話したりと、私たちのためにたくさんの準備をしてくれていたことがよく伝わってきました。楽しい時間を過ごした分、ホストファミリーやその友人たちとの2日間はあっという間で、別れはとても辛いものでした。しかし、私たちは永遠の別れをしたわけではありません。これからも連絡をとり続け、より良い友好関係を築くことによって、山梨県と台湾の、また日本と台湾の関係を発展させることが少しでもできたらいいと思っています。また会えたらいいなと思います。

今まで国際交流と縁がなかった私は、今回の経験によって外国に興味を持つようになりました。英語を使って外国人とコミュニケーションをとることに不安を覚えていた自分が今では考えられません。むしろ、外国についてもっと知りたい、また行きたい、という思いが頭の中で巡っています。私はこの研修に参加して本当に良かったです。ホストファミリーだけではなく、一緒に行った仲間や担当の方と素晴らしい出会いをすることができました。ありがとうございました。

* 教育局



* 学校交流



* ホームステイ



「3泊4日の台湾研修を終えて」

今回、台湾との国際交流事業を通して、学んだことや初めて知ったこと、様々なことを吸収することができました。

まず、台湾の文化についてです。研修に参加する前の私には、台湾に関する知識がほとんどなく、調べてみても、よくわからないことばかりでした。

そんななか、実際に台湾という国へ足を踏み入れ、「あの時書いてあったことは、こういうことだったんだ。」と自分の中で納得することができたし、全く知らなかったことを1から知ることもできました。文化体験の面で最も印象に残っているのはホームステイです。

3日目にみんなで原付バイクや船に乗って街を廻りました。日本では見ることのできない、市場やお店、ビーチなど、沢山のものがありました。食べ物も、ウズラの卵焼き、台湾チキン、トロピカルジュースなど、初めてみたり食べたりするものが多くて面白かったです。

台湾の人達は、日常の中でこんなものをよく食べるんだ！日本では普通だけど台湾では特別なんだ！そんなことを考え、ホストシスターたちと意見交換した時間は本当に有意義なものだったと思います。

次に、言語学習です。今まで、カナダ、韓国、と自分が話したり聞いたり読めたりできる言語が使われている国にしか行ったことのない私にとって、中国語が使われる地は本当に未知なものでした。案の定、街に出てみると、英語や日本語が通じる場所はほとんどなく、今まで海外に行っても感じなかった分厚い「言語の壁」というのを初めて体感しました。ですが、満足しがちだった自分の語学力を、もっと上げたい、もっと完璧にしたいと思うようになりました。

次に台湾へ行くときは、全て中国語だけで現地の人とコミュニケーションが取れるようになるのが今の目標です。

高雄市役所への訪問も印象にのこっています。意見交換ということで少し緊張していましたが、菓子折りやお土産まで用意していただき、台湾高雄市の漁港として栄えてきた歴史、第二の都市になるまでの成長過程をビデオとともにとても丁寧に紹介してくださいました。次に会う機会があれば、もっともっと成長した姿を見せられるように頑張りたいです。

行く前までは不安も多かった今回の研修ですが、沢山の方々と出会い、触れ合い、学び合うこともでき、想像以上に中身の濃い研修となりました。

あつい歓迎をして迎え入れてくれた高雄市の皆さん、中山工商の生徒の方々、そしてホストファミリー、この研修に関わった全ての人に感謝して、これからの生活に活かしていきたいと思います。

中山工商 英二甲



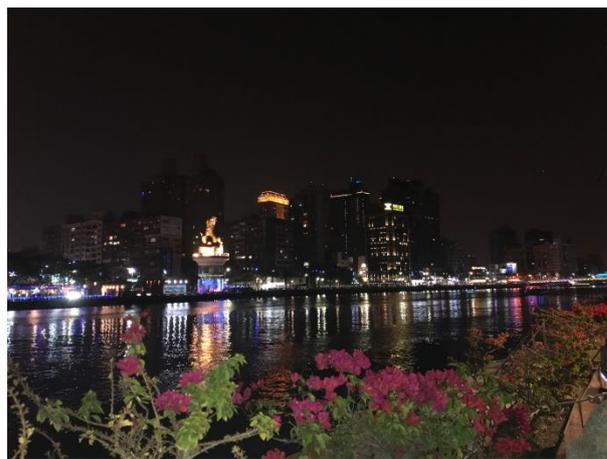
高雄市内にある駅(世界で二番目に綺麗な駅とされている)



ホストファミリーや友達との交流



ホテル周辺の夜景



最初に私がこの国際交流を知った時の印象は“行けたらいいな”という単純なものでした。しかし応募方法をよく見てみると書類審査と面接がある事を知り、私には無理だと応募する事を諦めようとしていました。そんな私が応募しようと決心した主な動機は、友人の留学経験の話を聞いたからです。彼は台湾での留学生活をとて楽しそうに語っていたので異文化に興味がある私は徐々に台湾に魅力を感じ“行けたらいいな”という単純な気持ちから“行きたい”という確かな気持ちに変わっていきました。

【1日目】

台湾に着いて一番最初に感じたのは違和感です。気温はもちろん、湿度、匂いなど細かい所からここは日本ではないのだと思い知らされました。さらに、空港を出て驚いたのはバイクの交通量です。行く前の準備でも学習はしていましたが予想を遙かに上回るバイクの台数に大きな衝撃を受けました。1日目は移動であつという間に時間が過ぎていったような気がします。ですが、台湾で過ごす初めての日にしてはとても充実した1日を送ることができたと感じています。

【2日目】

2日目の思い出はなんといっても中山高級工商職業学校とのクラス交流です。クラスみんなが私達を盛大に歓迎してくれたので緊張がほぐれ、純粹に楽しむことができました。国や言語が違っても友達になる事ができた事が今でも不思議で、奇跡のような貴重な時間でした。日本に帰ってきた今でも連絡を取り合っていて、ここで出来た友達は私の一生の宝物です。

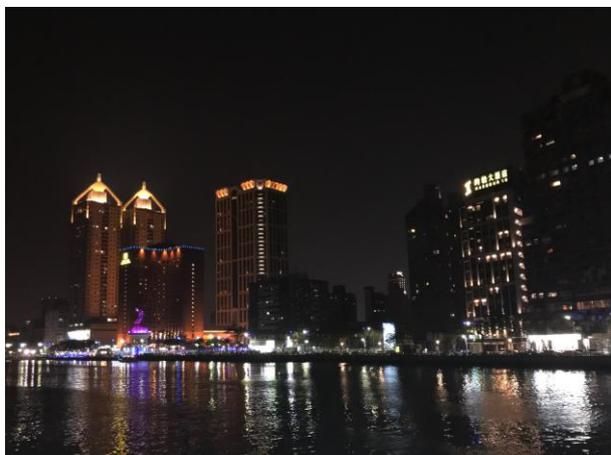
【3日目】

3日目はホストファミリーと高雄市を観光しました。私が一番印象に残っている場所は写真にある美麗島駅です。ここは私が台湾に行く前から調べていたところで、今回どうしても行きたかった場所でしたが、偶然にもホストファミリーが連れて行ってくれたので本当にびっくりしました。やはり実際に目にしてみると迫力があり強い感銘を受けました。ホストファミリーとはバイクに乗って移動をし、フェリーに乗って虹の教会や西子湾に行くなど、日本では経験することのできない事を沢山経験させてもらいました。ホストファミリーと過ごした時間はとても短かったですが、まるで家族のように接してくれました。

そして台湾での最後の思い出は夜市です。台湾に留学していた友人から夜市は本当に楽しいと話を聞いていたのでとても期待していました。期待通り夜市は本当に楽しく、お祭りに来ているような気分を味わえました。お腹がいっぱいであり食べ物を買えなかった事が唯一の後悔ですが絶対にまた台湾に来て、その時は目一杯楽しもうと思います。

最後に、3泊4日という短い期間でしたが台湾で過ごしたどの瞬間も充実していて心から参加して良かったと思いました。短い期間で私は台湾を大好きにな

り、現地の人の優しさに触れ、私は絶対にまたこの場所に戻って来ようと思いました。山梨の代表として参加できた事、現地の学生と交流できる機会を与えられた事に感謝して率先して国際交流の輪を広げていける人になりたいです。



「台湾の人のイメージが変わった」

これが私がこの台湾という場所に行って一番思った事です。私の台湾の最初のイメージは、台湾の人は、とても優しいというものでした。また、中国から分裂した国だから少し厚かましいのかなとも思っていました。しかし、実際に台湾に行ってみてイメージが大きく変わりました。

まず、そのきっかけとなったのが中山工商高等学校に行った事です。その学校に行ったら、まず沢山の中山工商の生徒さん達が出迎えてくれました。そして、丁寧に案内をしてくださいました。また案内してくれた場所で見つめた紹介のビデオで、全校生徒で一致団結したり力を合わせて一生懸命、色々な事に挑戦しているところが分かり、台湾の生徒は本当にすごいなと思いました。

また、配属先のクラスはとても元気で明るくて、椅子と机を用意してくれて私達のことをすごく歓迎してくれました。また、上手な日本語で沢山話しかけてくれて私はすごく感激しました。なぜなら同じ高校生なのに、ここまで一生懸命、母国語ではない言語を覚えて沢山コミュニケーションを取っていて私にもできないことをしていたからです。この体験から、私はもっと積極的にコミュニケーションをとったりしようと思いました。その結果、今、台湾に行く前よりはるかに積極的にコミュニケーションを取れるようになったので、この派遣事業について、台湾に行って本当に良かったなと思いました！

そして、次に台湾のイメージが変わったきっかけは、ホストファミリーとの交流です。初めは、ホストファミリーと仲良くなれるか、嫌われてしまうのではないかとか、とても不安でした。しかしホストファミリーは、とても親しみやすく話してくれて全く中国語が話せない私に翻訳アプリを使って会話できるように一生懸命になってくれました！その姿勢がとても嬉しくて私はとても感動しました！また、そのほかにも、私が車道側を歩いていたらさりげなく歩道側を譲ってくれたり、些細なことで色々なことを気遣ってくれたり、本当に優しい人達でした！

また、最終日に行った夜市では、この派遣事業を通してできた友達ホストファミリーが、何がオススメか教えてくれて、最後にタピオカを買ってくれました。“ありがとう”とお礼を言ったら“いいよ。台湾でいい思い出を作ってほしいから”と言ってくれました。その言葉を聞いた時に再び感動しました！本当にいい人でした。

この派遣を通して、台湾の人達のイメージが本当に変わりました。まず、台湾の人達は、とっても親切で気を遣ってくれます。また、フレンドリーで積極的に一生懸命な人が多いと思います。私は、この経験を通して、台湾のいいところをたくさん知れました！また、私の夢は看護師になって紛争地や貧しい国へ行って色々な人を助けることなので、台湾の人のように優しく気を遣える人になれるよう努力しようと思いました。この機会を経て色々な事を知れたし、自分の中で何

か変わったものがありました。また、人の優しさを改めて感じました。

だから、この機会を作ってくださった小佐野記念財団の方や私に出会ってくださった方々に感謝すると共に、これからも頑張っていこうと思います。

